

事前
企画

地球の上に生きる2011

DAYS JAPAN フォトジャーナリズム写真展 in 三重

参加費：無料

講演会

『本当のことを知らなければならない』



広河隆一 × 児玉克哉

講演 『加害者は必ず被害を隠す!』

講演 『世界平和のための新たな発想と行動』

対談 『フクシマ「原発震災」と市民の責任』

広河隆一

フォトジャーナリスト、『DAYSJAPAN』編集長

1967年大学卒業後イスラエルに渡りキブツで暮らす。第三次中東戦争に直面、また第一次・第二次中東戦争の痕にも触れパレスチナ問題を知る。エルサレムで反シオニズム写真展を開催したことを契機にパレスチナ問題をライフワークとする。その後チェルノブイリ、スリーマイル島など、世界各地の核事故・核汚染現場の取材報告も重ねる。イラク戦争開戦をとりまく世界的な情報の歪曲・隠蔽に危機感を持ち、開戦1年後の2004年3月、『DAYSJAPAN』誌を創刊する。同時に真つなフォトジャーナリズム確立のためにDAYSフォトジャーナリズム大賞を設ける。1943年生まれ。

児玉克哉

三重大学副学長 国際平和研究会事務局長(2000年-2004年、2010年~)

専門は、地域社会学、市民社会論、NGO論、国際平和論、情報社会論など。三重大学地域戦略センターでは担当副学長として地域活性化の研究を行っている。国際平和研究会事務局長(2000年-2004年、2010年~)として、世界の平和研究の中心的役割を担っている。世界から核兵器をなくすためにヒロシマ・ナガサキプロセスを提言し、活動を進めている。

〈とき〉 2011.7.24日 14:00 ~16:30 (13:30開場)

〈ところ〉 三重県人権センター多目的ホール

バス時刻表	◎津駅西口13:40 → 人権センター13:47
	◎人権センター16:56 → 津駅西口17:04

主催 DAYSJAPANフォトジャーナリズム写真展in三重 実行委員会
Tel/Fax 059-229-3078

共催 財反差別・人権研究所みえ「平和と人権研究会」

